

教科目名 思想史 (History of Thought)

学科名・学年 : 全学科 5年

単位数など : 選択 1単位 (後期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 堀 栄造

授業の概要			
現代哲学の一つであるニーチェ哲学を通して生の哲学を学ぶとともに、西洋哲学史上の諸思想についても概説する。 初めの方ではニーチェ哲学について概観し、のちにはニーチェの著作を講読する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) ニーチェの生の哲学および西洋哲学史上の諸思想を学ぶことによって、哲学的思考の仕方を理解する。(定期試験) (2) 我々にとって異文化といえる西洋的思考および西洋の文化に接し、地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付ける。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	経歴と学説の概観 初期思想 中期思想 後期思想 ニーチェの著作『善悪の彼岸』の講読 同上 同上	○ニーチェ哲学の課題と発展過程について理解できる ○ディオニュソス的世界観について理解できる ○自由精神の哲学について理解できる ○ニヒリズムの超克について理解できる	【理解の度合い】
8	後期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	後期中間の解答と解説 ニーチェの著作『善悪の彼岸』の講読 同上 同上 同上 同上	○善悪の彼岸について理解できる ○本性の内奥の諸衝動について理解できる ○権力への意志について理解できる ○ニヒリズムについて理解できる ○生の遠近法について理解できる	【理解の度合い】
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	ノートをしっかり取り、質疑応答などは積極的に発言すること。		【総合達成度】
教 科 書	プリント配布。		
参 考 図 書			
関 連 科 目	哲学特論Ⅰ・Ⅱ(専攻科2年)、哲学概説(5年)、倫理(2年)。		
総 合 評 価	定期試験により評価する。評価が60点以上を合格とする。		
			【総合評価】 点